

The 3rd NIMS(MANA)-Waseda International Symposium



PROGRAM

November 1, 2011(Tuesday)
Conference Room 121, Building #120-5, Waseda Campus, Waseda University

OPENING 13:00-13:10

13:00-13:10 Opening Remarks
Kazuyuki Kuroda (Waseda Univ.)
Toyohiro Chikyow (MANA, NIMS)

SESSION 1 13:10-14:30

13:10-13:30 "Novel Synthesis and Properties of Inorganic Semiconducting Nanostructures"
Yoshio Bando (MANA, NIMS)
13:30-13:50 "Diamond Solution-Gate FETs for Protein Sensor using DNA/RNA Aptamers"
Hiroshi Kawarada (Waseda Univ.)
13:50-14:10 "Chemical Design of Two-Dimensional Oxide Nanosheets for Tailored Nanoelectronics"
Minoru Osada (MANA, NIMS)
14:10-14:30 "Optimization of Zeolite Membrane Synthesis by Surface Charge Control"
Masahiko Matsukata (Waseda Univ.)

Coffee Break (14:30-14:50)

SESSION 2 14:50-16:10

14:50-15:10 "UV-visible-infrared Faraday Isolators based on Oxide and Fluoride Single Crystals"
Kiyoshi Shimamura (Optical and Electronic Materials Unit, NIMS)
15:10-15:30 "Optical Properties in Anisotropic Biological Materials"
Toru Asahi (Waseda Univ.)
15:30-15:50 "Advanced Functional Nanoporous/Mesoporous Materials"
Yusuke Yamauchi (MANA, NIMS)
15:50-16:10 "Dynamic Bond-Order Force Field: A New Chemically Reactive Interatomic Potential"
Takanobu Watanabe (Waseda Univ.)

Coffee Break (16:10-16:30)

SESSION 3 16:30-19:30

16:30-17:50 Short Oral Presentation (1 min for each presentation)
17:50-18:00 Closing Remarks
Yoshiji Horikoshi (Waseda Univ.)
18:00-19:30 Poster Presentation

ショートプレゼンで磨く発表スキル 大越昌樹

化学・生命化学専攻 博士後期課程1年 中井研究室 (下写真:左)

本シンポジウムでは、まず第一線の研究者の先生方の講演を伺いました。「メソ化学」をキーワードとして、機能性ナノ構造体から新規な光学測定法、理論シミュレーション法の開発に至るまで、広範なテーマについて最新の研究成果を講義していただきました。学生や若手研究者向けということで、どのように着想に至ったか、何を面白く感じていらっしゃるか、なども含めた熱意のあるご講演でした。

学生らによるポスター発表の前には、口頭でのショートプレゼンテーションが行われました。自分の研究を1分間という僅かな時間で、専門外の方にも興味を持っていただけるようにプレゼンすることが求められ、発表スキルを磨く良い機会であったと思います。また、国際シンポジウムということで、英語が公用語という環境であり、英語でのコミュニケーションという意味でも、有意義な時間となりました。



同期の発表が刺激に 小林慶一

応用化学専攻 博士後期課程1年 桐村研究室 (上写真:右)

11月1日に開催された第3回NIMS (MANA) -Waseda International Symposiumに参加させていただきました。国際ナノアーキテクニクス研究拠点 (MANA) の先生方のご講演はハイレベルで、正直なところ十分な理解ができたか自信はないものの、世界トップレベルの「化学」に触れることができ、大変有意義かつ貴重な機会でした。また、僅かな時間で言うポスター紹介のプレゼンテーションは、自身の研究目的・成果をいかに要領よく伝えるか、ということに非常に考えさせられました。さらにポスター発表は、他研究室に所属している同期の研究発表を聞ける機会でもありました。同期であっても、その研究戦略・進行段階に差を感じることも多く、良い刺激となりました。今回のシンポジウムで感じた事を忘れずに、研鑽を積んでいきたいと思っています。